

## 本庄市内の図書館の利便性向上のための決議

日本全国で人口減少とともに少子高齢化が進み、特に地方の自治体において様々な問題が顕在化しつつある。

本庄市総合振興計画にもあるように、これからの変化の激しい社会においては、自らの力で人生を切り拓き、たくましく生き抜いていく自立した子どもを育成することが重要だ。それには、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これからの人生に必要な「知・徳・体」をバランスよく育む必要がある。図書館を利用することはその三分野のうちの「知・徳」を養うことにつながる。私たちが学ぶ高校が立地する本庄市も例外ではなく、近年では本庄市市民活動交流センター（はにぼんプラザ）が設立され、図書館で本を借りる学生や学習する学生も減ってきているのが現状であり、特にそういった若い世代に「必要とされる図書館」となるための取り組みが必要である。

その「必要とされる図書館」となるためには、市民や高校生など学生の意見に対応し、利便性に特化していることが重要だ。そのためには各高校・図書館の職員・地域が連携・協力することが必須である。

視察を通して、本庄市内にある本庄市立図書館・本庄市立図書館児玉分館は利便性が欠けているように感じた（特に交通網）。そこで私たち高校生議員が中心となり、若い視点を活かし、本庄市内の図書館の利便性を向上させる様々な取り組みを行うことで、本庄市在住の学生だけでなく、市外から通う生徒や学生以外の本庄市民にとって「必要とされる図書館」へと発展させるきっかけとなるだろう。

上記のような考えにより今年度の高校生議員は以下のような取り組みを積極的に推進する。

- 1 利用者増加のためのポスター制作・掲示をする
- 2 インターネットでの発信（SNS等）をする
- 3 利用者の意見を取り入れるため図書館や各高校にアンケートBOXの設置を促す
- 4 3の取り組みから得た意見を基に研究し、市に提案する

以上、ここに決議する。

令和4年8月18日

本庄市議会高校生議会